

ワーク・ライフ・バランスを推進するための働き方・休み方の見直し「働き方改革」局長トップ対談 株式会社仲本工業 仲本豊代表取締役社長

働き方改革に取り組むきっかけについて

わが社のような「建設業」が従来から言われている3K(キツイ・キタナイ・キケン)では、少子高齢化の中で学生の確保が厳しい状況にあったため、新3K(給料が高い・休みが多い・希望がある)の実現を進めてく必要性を感じました。また、人財の確保と生産性を向上させるための「業務の効率化」は、企業の生き残りを大きく左右する要素であり、過度な労働時間を是正して社員の健康確保と福利厚生充実が重要であると考えたからです。



労働時間の削減に向けて

全社的な取組として、毎週水曜日を「ノー残業デー」としています。「ノー残業」の実施にあたっては、ハード・ソフト両面での効率的な機能拡充を行いました。具体的には、①事務部門では、ICカード、スマートフォンでの出退勤管理等を行う労務管理ソフトや財務ソフトの刷新、②施工部門では、タブレット端末を活用した工程管理やドローン等最新機器の導入、③工場部門では、溶接ロボットシステムや梁口ボ (鉄筋 CAD システム) の導入等です。これらにより、着実に平均残業時間が減少しています。

年次有給休暇の取得促進について

月1回開催される全体会議の中で、私(社長)自らが、安全衛生管理の側面から休息することの重要性を強く訴えています。加えて、給与明細書に有給休暇の取得状況を明記し周知し意識付けしています。また、社員のニーズを踏まえ、有給休暇を時間単位で取得可能としています。さらに、各自の業務内容や予定の共有化を進めるとともに、業務を特定の担当者だけに分担させると有給休暇を取得しにくい、という意見を踏まえ、現在は、課内や現場の業務が共有できるよう業務代行者、第2係要員の育成を進めています。

社員の健康づくりの取組について

社員一人ひとりが安全・安心して働くことができるよう、会社をあげて健康づくりにも取り組んでいます。全社員が万歩計を所持し1日7,000歩くことを目標とした「1日7,000歩運動」、ストレスチェックの導入、スポーツジムとの提携、沖縄マラソンへの参加、琉球ゴールデンキングス・FC琉球の団体観戦等社員の要望を踏まえ様々なメニューをそろえています。

今後の課題について

これらの取組により、労働時間の削減、年次有給休暇の取得は着実に進んでいると考えています。また、育児休業や介護休業の利用も進んでいますし、男性も育児に積極的に取り組んでいます。女性の役職者も増え、多くの女性が現場も含め活躍しています。*育自休業取得者延べ12名、うち1名は男性で2か月取得、介護休業取得者延べ2名、女性役職者3名
今後の課題としては、IoT(Internet of Things)、RPA(Robotic Process Automation)システムの導入やフレックスタイム制などによる柔軟な働き方への対応などを現在検討中で、今後も働き方改革・生産性の向上に取り組んでいきます。

沖縄労働局長より

働き方改革と生産性の向上は車の両輪として進めることが重要ですが、まさに、社内の実情分析や社員のニーズを踏まえた働き方改革と最新機器の導入等による生産性向上を会社をあげて取り組んでおられること、また、更なる課題に向けた検討を進められていることは大変すばらしく、引き続き取り組んでいただき、県内の働き方改革の牽引役になっていただくようお願いいたします。



<企業概要>

名称：株式会社仲本工業、業種：建設業、
所在地：沖縄市、労働者数：166名